

松原小学校の教育目標 やさしい子 考える子 元気な子



わっやま夢の学び舎

松原

学校通信まつばら 1月号
令和3年 1月8日 (第432号)

世田谷区立松原小学校
校長 尾上 佐智子
〒156-0043 世田谷区松原5-4 3-2 6
TEL 3322-0191 FAX 3322-4351
URL <http://school.setagaya.ed.jp./maba/>

題字は、彩の会 竹尾昭子先生にお書きいただきました。

STEAM教育の研究発表に向けて

校長 尾上 佐智子

明けましておめでとうございます。新たな年を迎えました。新型コロナウイルス感染症への防止対策を継続していく中ではありますが、今年も松原小学校の子どもたちにとって、より楽しく実りある学校生活となりますよう、本校教職員一同、知恵と力を合わせて教育活動の充実に努めていきます。本校教育活動への保護者・地域の皆様方の一層のご理解・ご協力をいただきたく、よろしくお願いたします。

さて、今月28日、令和元年度から校内研究で取り組んでまいりましたSTEAM教育の研究発表を行います。研究主題は「問題を見付け、その解決に向けて思考し、相手意識をもって発信できる児童の育成～STEAM的アプローチを通して～」です。STEAM教育とは「各教科等での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育」を行うものです。本校では目指す児童像に迫るべく、問題解決型学習(PBL)を通してテクノロジーを活用し、課題解決するために必要なスキルや技能の習得を図れるよう、授業実践を重ねてまいりました。このような学習経験は必ずや、人口知能(AI)、ビッグデータ、Internet of Things (IoT)、ロボティクス等の先端技術を、産業や社会生活に取り入れ、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることができる人間中心の社会「Society5.0」の実現に向けて、必要とされる力となり、いわゆる21世紀型学力を子どもたちにつけることに役立つものと考えます。そして、経済発展と社会的課題の解決を両立させていく際の担い手に子どもたちがなれるよう、研究の一層の充実に努めてまいります。

<1月の行事予定>

8日(金)	始業式 B時程 4時間授業	18日(月)	書き初め展終
9日(土)	土曜授業日 安全指導日 あいさつ週間始	19日(月)	クラブ活動 生活リズム調査終
11日(月)	成人の日	20日(火)	B時程
12日(火)	給食始 委員会活動 発育測定(1・3・5年) 生活リズム調査	21日(水)	児童集会
13日(水)	書き初め展 発育測定(2・4・6年)	24日(日)	遊び場開放
14日(木)	ユニセフ発表集会 避難訓練	25日(月)	読書旬間
15日(金)	あいさつ週間終 ユニセフ募金	26日(火)	委員会活動 セーフティ教室
16日(土)	土曜授業日 ユニセフ募金	28日(木)	研究発表 土曜時程 4時間授業 最終下校12:55
17日(日)	遊び場開放		

【1月の生活目標】

- <生活>感謝の気持ちをあらわそう。
- <保健>かぜを予防しよう。
- <給食>給食前の手洗いをしっかりしよう。

【人格の完成を目指して】

1月のテーマ：『感謝』

- ・私たちを見守り、支え、育ててくれている人たちに、感謝の気持ちを伝えてありますか？
- ・人の親切に「ありがとう」を伝えましょう。
- ・勉強やスポーツに力いっぱい取り組める毎日
は嬉しいです。

書き初め展

国語担当 橋元 美波

年頭、気持ちを新たに書に記す書き初めを、1月13日（水）～18日（月）に各クラスの前に展示します。

1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で書きます。2学期や冬休みに練習した成果を十分に発揮して、満足のいく作品を書き上げてほしいです。文字を正しく整えて書くだけでなく、心を落ち着け、一画一画に集中する力も大切にして取り組ませたいと考えています。鉛筆や筆の持ち方、書く時の姿勢に気を付けて文字を書くよう指導していきます。書き初めを機に、美しく文字を書くことの楽しさ、気持ちよさを感じられるようにしていきたいと思っています。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対応のため、保護者の方の鑑賞は行わず、児童同士の鑑賞のみとさせていただきます。ご了承ください。2021年の気持ちを表すような作品を楽しみにしています。

算数少数数の授業から

算数少数数担当 花房 真澄男

「児童の一人ひとりの習熟の程度に応じたきめ細かな指導を行うことにより、児童の学力の定着と伸長を図る。」という基本的な考え方をもとに、習熟度別少数指導の学習を行っています。本校では、平成20年(2008年)からこの学習形態を継続しています。現在、3年生以上の3学年を4グループに分けて、担任と算数少数数担当で指導しています。

「基礎・基本を中心に一人ひとりをきめ細やかに指導するグループ」…A 「興味・関心や学ぶ意欲に基づく主体的な学習をし、発展的に展開するグループ」…B などいくつかのグループ分けをしています。Aのグループでは少ない人数で基礎的な学力を中心に授業を進めています。少ない人数なので手を挙げることに抵抗が少なく、気軽に質問してくれます。算数の学習をやや苦手としていた児童もこういった環境から少しずつ学習意欲が増し、授業に積極的に取り組めるようになっていきます。Bのグループでは、課題についてそれぞれの考えを提案し、みんなで検証するような学習形態をとる場合もあり、6年生の授業では「円の面積」円の面積の公式を導く考え方がいく通りも出されていました。5年生の「割合とグラフ」の学習では、教科書中心の学習だけでなく、タブレットを使用し、エクセルによるグラフ作成を学びました。先日、Aグループの児童がテストで高い得点を取れたと目を輝かせて報告してくれました。算数への学習意欲を高め、学力の定着を目標にこれからも創意工夫した授業をしたいと考えます。

今月、いよいよ研究発表

研究主任 綿田 恭子

昨年度までプログラミング教育の研究をしてきた本校ですが、今年度は、世田谷区の研究開発校としてSTEAM教育の研究発表を行います。STEAM教育という言葉をご存じですか。もともとは、アメリカでS(科学) T(技術) E(工学) M(数学)の教育分野を強化しようという施策から、STEM教育という概念が生まれました。松原小学校では、科学技術の素養や論理的思考力を育てるSTEMに、より幸福な人間社会を創造する上で欠かせないデザイン思考や幅広い教養としてA(芸術、表現、リベラルアーツなど)の分野を取り入れ、STEAM教育として研究を深めてきました。この研究で児童に身に付けてほしい力の一つに、理数教科も含め、既習内容を駆使しながら、様々な身近な問題について考え、実践的に解決していく力があります。例えば、5、6年生は松原小学校をよりよくするプロジェクトを立ち上げました。校内の実態を知り、学校をよりよくする方法を考え、実行しました。全校児童にアンケートを取り、その結果をグラフ化して分析したり、量を表すのに、数字ではなく「〇が何個分」といった、視覚に訴える表現に置き換えたり…と、伝える相手に合わせて表現方法を工夫したりしている姿が見られました。

「正解のない問題に向かって試行錯誤しながら、自分なりに答えを導いていく」そんな児童の姿は、まさに本校の教員が新しい教育、STEAM教育について手探りで研究している姿と重なります。新時代の教育とはどうあるべきか、提案性のある発表ができればと思っています。